

今回のオリンピックに期待していることはなんですか？

「たくさんを期待していますが、まず重要なのは、できるだけ多くのメダルを獲得することです。ケニアは男女ともに、スポーツがとても強い国です。特に陸上のトラック競技は、常に勝ち続けてきたという自負があります。2016年のリオデジャネイロオリンピックではロンドンオリンピックの2倍となる15個のメダルを獲得できましたが、東京2020オリンピックでは、この成績を上回ることを目標としています。最近、トレーニングの質も上がってきています。2019年9月から10月にかけて開催された世界陸上ドーハではとても素晴らしい成績を収め、ケニアが獲得したメダル数は、アメリカに次ぐ第2位でした。東京2020オリンピックではその上にいくことを期待しています。

2つ目の期待は文化面。これもオリンピックにおいて、とても重要な側面です。日本をはじめとする多くの国との文化的フュージョン（融合）を期待しています。久留米市での事前キャンプについても同様です。3つ目の期待はPRです。オリンピックは、ケニアの投資機会やビジネスチャンスなどをアピールするチャンスでもあると思っています」



オリンピック出場が期待されるケニアの選手で、特に注目している選手について教えてください。



「まずは何と言っても、マラソンの世界記録保持者であるエリウド・キプチョゲ選手です。キプチョゲ選手は、2019年10月にオーストリアのウィーンで行われた特別レースで、非公認ながら2時間の壁を破る1時間59分40秒を記録しました。本番ではどんな記録が出るのかとても楽しみです。

マラソンには他にも有望選手がたくさんいます。2019年11月に行われたニューヨークシティマラソンでは、男子がジェフリー・カムウォレ選手、女子はジョイシリネ・ジェブコスゲイ選手が1位を獲得しました。

他の種目では、日本で2019年9月から10月にかけて開催されたワールドカップバレー2019への出場を果たした、女子バレーボールのオリンピック出場を期待していますし、男女ともにすでに出場を決めたセブンズ（7人制ラグビー）にも期待しています。たくさんの種目でケニアの選手が活躍できると信じています」

普段しているスポーツや好きなスポーツはありますか？

「週末によくゴルフを楽しんでいます。2019年11月4日には、神奈川カントリークラブで開催した『アフリカカップ』のホストを務めました。このイベントは、アフリカ諸国の大使や日本企業の幹部がメンバーで、チャリティーが目的でしたが、180名もの人が参加しました。集まったお金は、『駐日アフリカ大使夫人の会（AWAAJ）』を通じて、台風19号で被害に遭われた方々のために寄付をさせていただきました。

スポーツは観戦するのも好きで、大相撲はよく両国国技館まで見に行きます。怪我で引退した稀勢の里は、とても残念でした。それからロンドンに駐在していた時、ロンドン公演で千代の富士の取組を見たことは、貴重な体験でした」

